



新社会党東京都本部委員長

江原ひであきアピール 2005.9

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話(03)3381-7656 FAX (03)3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール hide-eba@cameo.plala.or.jp

国会で決まっても国民の声を聞け、と言おう

9月11日、総選挙が終わった。自民党が296議席を獲得して圧勝した。民主:113, 公明:31, 自民系無所属:14, 共産:9, 社民:7, 諸派:5, 国民:4, 日本:1, という結果だが、なんと与党の自公で衆院の2/3を越す327議席だ。そんなバカなことがあるか、と思うがこの現実には冷静に受け止めるしかない。

しかし、これからの国会運営を‘数’で押し切られると大変なことになる。国民投票法案も教育基本法の改悪も、さらには憲法の改悪さえもされてしまう。

したがって、これからは“小泉流を逆手”にとって“国会で決めても国民の声を聞け”！と押し返さねばならない。

覚えておこう

小泉自民党は、「この選挙は“郵政民営化”について国民が賛成か反対かを問う選挙」なんです。と言って他の政策課題は争点にしていない。“「マニフェストに書いてあった」とは言わせない”。

小泉首相は「私は総裁の任期が終われば(来年9月)首相を辞めますと公言」した。このことは選挙の前後に繰り返し発言した。“「与党議員が任期延長をせよと言うから1年伸ばす」とは言わせない”。

「既得権益と決別する」と大見得を切った。 - - しっかり見定めよう！（遺族会、農協、医師会、他、各種業界団体等と決別できるのか）

口からでまかせのウソがすぐ解る。

野党(特に民主)はなぜ負けたか 戦略、戦術的に負けた。 軽薄なマスコミ報道の責任も大。

争点隠しの選挙にされてしまった。本来なら「小泉政権の過去、現在、未来の賛否」と「野党提案」が問われるべき。

第1に、党内反対派と公務員を「悪玉」・「敵」に仕立て、それを打倒する正義の味方‘小泉’を許し、第2に党内反対派を抹殺する「刺客」を次々に送り込みマスコミにのせる、第3に華やかな女(くの)をちりばめ、徹底的に「悪玉」を退治する力強い小泉を演出させてしまった。

これは、冷静に見れば自民党の党内闘争であり総選挙で問うことではなかったのだ。

政策以前の選挙なので野党の側は「この選挙は日本を独裁政治にするか、しないかを問う選挙」だ！と提起し、その後に政策を語るべきだった。「選挙の位置づけを争点にされてしまった」。「改革」の中身を語らずして「幻想」のばらまきを許した。政権与党が連合しているのに、野党がバラバラの戦いでは権力の打倒も奪取も不可能に近い。

小泉自公政治は破綻している！

財政破綻は再建不可能？ この4年間に170兆円も借金を増やし国だけでも770兆円にもなる。国民生活の困窮進む。弱肉強食が進み、中小商工業者や勤労者がリストラされ、無権利状態の労働者の急増で貧富の差が極端に大きくなり 3万人以上の自殺者が6年間も続いている。商店街や地域のコミュニティーが崩壊し治安が乱れ凶悪犯罪が急増している。増えるのは監視カメラと警察官ばかり。強権政治が台頭している。外交は四面楚歌！ 特定団体の支持欲しさに続ける靖国参拝！ ナショナリズムを鼓舞する教科書問題、アメリカ従属のイラク派兵、等々で対韓国、北朝鮮、中国、ロシアなどアジア外交での行き詰まり。国連安保理問題での大失態！ イスラム諸国からの敵意のまな差し！ 戦争をする国へ向けた法改悪。そして、教育基本法や憲法改悪へ財界の意を受けて軍事大国へまっしぐら。

自民党圧勝は白紙委任ではない。 権力乱用の詐欺的選挙に民意の反映はない

消費税やサラリーマン増税は認めていない。
社会保障制度の改悪は認めていない。
「改革」の名の下に貧富の格差拡大は認めていない。
靖国参拝や日の丸・君が代の強制、愛国主義の鼓舞、共謀罪や監視社会強化は認めていない。
教育基本法改悪や憲法改悪は認めていない。
日米軍事一体化と戦争する国への道や威嚇外交は認めていない。

(05年9月12日 江原ひであき)